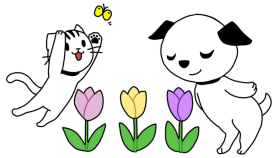
料金別納

ゆうメール

ひびき動物病院
かわらばん



2026年3月　第97号

絵：かたくら ほのか

3月　2026

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10 午前休診	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

1月

2月

3月

日曜・祝日は午前診療
トリミング　日　月　火　金　土

4 April　2026

木曜
定休

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
29	30	31	1	2	3	4 午前休診
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14 午前休診	15	16	17	18 午前休診
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

4月は狂犬病注射で院長の出張があります

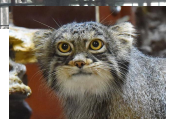
久しぶりに東名
高速に乗りました。
事故渋滞で横浜から
海老名まで1時間。
8台も追突してました。
藤沢から高速乗った
方がいいですかねぇ？

こんにちは。岡田響です。

暖かくなってきました。お散歩コースから見える富士山の雪も、気づけばだんだん減ってきています。雨が少ないのが気になりますが、過ごしやすい時期になってきそうですね。でも、色々な移動が増える時期でもあり、新生活、新学期などでストレスも溜まりやすい時期になります。おうちの中でバタバタが増えると、普段は寝てばかりいるようなペットもそれにつられて緊張したりストレスを抱えたりしがちです。いつもと違う道をお散歩してみたり、無理をせずに適度に休息して気分をリラックスする、冷たいものや甘い食べ物は食べ過ぎずお腹を守る、なんていうのが手軽にできるおすすめ対策です。

ちょっと暖かい日に少し隙間時間ができたので、用事ついでに野毛山動物園に寄ってみました。11月にマヌルネコが来ているのは知っていましたがなかなか行けるチャンスがありませんでした。野毛山のブログを覗いてみると、新しい獣舎に最近ようやく慣れてきたのか、少しずつ外に出ている様子が確認されているようでした。はじめは緊張して箱に入りっぱなしで外に出てこなかったみたいです。そろそろ出てくる時期かな？と想像していました。マヌルネコは以前旭山動物園に行った時に見かけて、看板に「1500万年前から姿が変わっていないと言われている。ネコ科の中では現存する最も古い種類」と解説されており、ちょっと興味を持ちました。「岩場の多い草原や砂漠に生息していて、隠れる場所が少ないために特有の生態をしていて、襲われたり、狩りをする時には岩になりきり敵を欺く。岩から覗き込んでも目立たないように耳は低く、おでこが狭い。草の隙間から除く事が少ないので、瞳孔は常に丸い」って解説に書いてありました。なるほど。

行ってみた日は右の写真のように、外に出てきていましたが、箱に隠れているつもりなのか、頭の方だけ見えない状態でした。ネコは何故か上半身だけ隠れている時ありますよね。。大きなカメラを持ったカメラマンの方が何人かいて、長い時間チャンスを待っている様子でした。諦めて帰り道、最近改築されてやっとオープンしたなかよしコーナーをチェックしてみると大人ばかりでした。市内の動物園でも、ズーラシアはふれあいコーナーが終了してしまうようです。そうなればこのふれあいコーナーは動物と触れ合いできる場所としては貴重な存在となりそうです。オンライン予約できるようです。お出かけ時は要チェックです！



先日、初めて友人の結婚式に参列してきました。結婚式に呼ばれること自体初めてだった為、当日は新郎新婦と同じくらい緊張してしまいました(笑)
成人式以来ずっと着る機会が無かった振袖を着て参列したのですが、なれない着物で思うように動けず、次はドレスにしよう…と心に決めました。式はとっても素敵で、感動して少し涙が零れました(ﾟ∀ﾟ)

片倉

最近のできごと ～びっくりシリーズ～

☆旧友に18年ぶり位に会いました。全々変わっていなくてびっくりでした。

☆フランスの友人と1年に1回メッセージしていたのですが、ひんぱんにやりとりするようになりました。秋田犬と錦鯉を飼っていると聞いてびっくりしました。

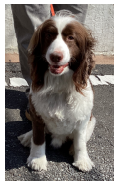
☆うちのもう一匹の黒猫も断脚手術をお願いしました。3日位、手からしかごはんを食べない程弱っていたのに、2週間程したら走り回るようにい！回復力にびっくりです。イソベ

＊いつもと違うな？と感じたら、翌日にはご連絡ください。

ひびき動物病院　TEL045-832-0390
〒235-0045　横浜市磯子区洋光台6-2-17-102
午前9～12時　午後4～7時　受付30分前まで　予約制

ブログ

今月の写真


ウッズちゃん

さんごちゃん

そらちゃん

そらちゃん

17歳以上の
長寿犬
長寿猫
お写真募集中！

ノミ・マダニは13℃　フィラリアは15℃

　ノミの発育可能温度は気温13℃というのはよく知られています。ノミは草むらなどから犬猫に飛び移り、吸血を始めると24～48時間で産卵し、卵から生まれた幼虫は大体２週間くらいで成虫になります。同じようにマダニは種によっては10度程度でも活動し、0度近くでも越冬が可能のようです。近年は人にうつるSFTS（ダニが運ぶウイルス）の話題もあり、冬も予防する方がいいんじゃないか？と言われています。
　フィラリアは蚊が運んできます。気温が15.6度になると蚊の体内でフィラリアの幼虫が発育する事がわかっています。蚊が運びますので、蚊が活動を始めてからの予防で間に合います。近年15.6度は東京だと3月に確認されており、予防が早い方がいいんじゃないか？という意見も出ています。調べたところ、去年神奈川県では3月は平均15.6度はギリギリ超えていなさそうでした。今年はどうなるか？です。
フィラリア予防は遅くても5月にはじめて、終わりは12月の後半以降になるようにしておくのが大事、と思います。蚊が飛び始めたら1ヶ月後から始めるのですが、最後はいなくなってから1ヶ月後より後まで、になる必要があり、投薬を忘れないでください。
ノミ・マダニはもう始めるタイミングです！今年は一年間持続する注射予防薬が出るそうです。楽ですが、ちょっと高そうです。ご希望が多ければ取り入れます（教えて下さい）。
＊フィラリア検査の混雑回避は3月中の早めがおすすめです。

ワンちゃんは狂犬病の注射の時期になりました

　3月は役所から注射の案内が来る時期です。以前、ウクライナから避難されてきたペットと関わる事がありました。日本にペットを持ち込むにはは狂犬病予防注射が必要なんですが、その子は接種歴がなかったため、しばらく検疫所にいて飼い主さんと離れ離れでした。というのをふっと思い出しました。日本ではみなさんの多くが予防してくれているおかげで狂犬病がない状態が続いています。世界の多くの国が狂犬病発生国です。日本に狂犬病がないことは大事なことと思いますので、ワンちゃんは忘れずに注射を受けてくださいね。そして海外に行った時には、動物に噛まれないようにいつもよりもちょっと注意してくださいね。

かわらばんバックナンバー
ホームページにあります

ブログ記事バックナンバー
noteにあります

当院で取り扱できる
ペットフードを注文で
きます。

フードの日　日月火に事前注文で注文後の日曜日来院
１０％割引で買えます。LINEで注文お気軽にどうぞ。

LINE

猫の腎臓病のおくすり

　最近、猫の腎臓病の新しいお薬（AIM)の話題がありますね。新しいお薬に関しての情報はまだ動物病院の方にも詳細が届いていないのでそこまでの情報がないのですが、今までにないお薬ということで、興味や期待度が大きいのかもしれませんね。そのくらい猫には腎臓病が多い、ということなのだと思います。
2017年頃に発売された猫の腎臓病のお薬（ラプロス）もありますが、この時も発売前から結構話題になっていたのを覚えています。
その時は、「すごい薬が出るんだって？」って聞かれました。確かにインターネットの記事でも、良さそうなお薬出るみたいだよ～、ってチラチラ出ていました。
先日猫の腎臓病の院内勉強会を開催して、話題のあったお薬が今どうなっているかも教えていただきましたので、少しご紹介したいと思います。

猫の腎臓病について、少し復習します。
5歳以上の猫の死因の第1位になっています。
10歳以上の猫の有病率は30～40%、３頭に１頭は猫は腎臓病になってしまう。
原因はよくわかっていません。ある持病の病気が原因になることもありますが、加齢によるもののことが多いようです。猫は砂漠で進化してきた経緯から非常に濃い尿を作ります。この作業で腎臓の尿細管が常にフル稼働して体に必要な水分を腎臓で回収しようとするため負荷がかかりすぎて細胞が傷つきやすいとも言われています。
腎臓は基本的に回復しない内臓なので、病気は不可逆的（戻らない）に進行します。
進行状況は４段階にステージ分類されていて、血液検査などで判断されます。
根治的な治療は腎臓移植になりますが、通常あまり行われません。
今処方しているラプロスというお薬は壊れた尿細管と周囲毛細血管がそれ以上壊れないように保護するためのお薬です。2023年の論文上のデーターによると、猫の慢性腎臓病のステージ３と診断された猫にこのお薬を使って無増悪生存期間と全生存期間を調べたところ、お薬を使っていた子と使っていない子ではそれぞれ

無増悪生存期間は　16.6ヶ月と5.9ヶ月　（2.8倍）
全生存期間は　23.4ヶ月と9.5ヶ月　（2.5倍）

となり、このように両方とも有効性が高いことが確認されました。
また、複数種類のお薬が必要になる状況で、他のお薬よりも猫があまり拒否しない。という結果の報告もあります。なので、きっと少し早めから治療を開始しておくと疲れきる前に尿細管を保護できて寿命が延ばせる可能性がある、と推測することができます。同時に、疲れている尿細管を疲れさせないようにする方法は他にないのか？と考えると、その一つは積極的な水分補給です。体に残っている僅かな水分を極限まで利用しようと腎臓が頑張るので、体に水分があれば腎臓の仕事量を少し楽にしてあげられます。なので、ドライフードしか食べない、という子は、将来ちょっと不利になるかもしれません。実際のところ猫に水分を取らせるのはあまり簡単ではありません。以前よりもお水をたくさん飲むようになった、という場合は、腎臓の仕事量が増えすぎて、とうとう壊れてきた、というサインの時もありますので、10歳を超えてそのようなことがあれば、血液検査や尿検査など健康診断をすすめてみてほしいと思います。新しいお薬も加わると、もっと期間が長くできるのかも？？っていう事ですね！

かわらばんやメールなど当院からのお知らせが不要な方は
こちらのQRコードスキャン画面よりお知らせください。
（HPトップページの下部からも解除画面に行けます）
ご連絡いただきましたら速やかに停止させていただきます。